

# 「健康長寿のための減塩&野菜を食べよう大作戦」を通じた事業展開について

健康増進課：H27.12.25

平成28年度

平成29年度

平成30年度

福島県食育応援企業団

連携・協力

うつくしま健康応援店や事業所社員食堂等

連携・協力

県

連携・協力

地域

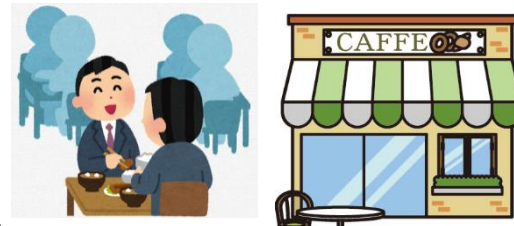
## 「減塩&野菜を食べようキャンペーン」の実施

福島県食育応援企業【流通・販売企業等】  
 ■減塩・県産野菜摂取量アップの商品試食・販売の協力等【県内6カ所で実施】



福島県食育応援企業【サービス部門・報道企業等】  
 ■減塩・県産野菜摂取量アップに向けての取組の紹介・必要性PR等

福島県食育応援企業【食品生産・製造・加工企業等】  
 ■減塩・県産野菜摂取量アップのための商品開発・食べ方の提案等【3企業と共同開発】



農林水産部や教育庁等と連携  
 県産食材の安全性のPR  
 県産食材の風評払拭・消費拡大

## 「減塩&野菜を食べようキャンペーン」の実施

■うつくしま健康応援店や事業所社員食堂での実施に向けた普及啓発講習会の開催【県内3地区で実施】

■うつくしま健康応援店や事業所社員食堂での実施【6保健福祉事務所管内で実施（各3カ所以上で実施）】

## 「食行動実態把握推進事業」の実施

調査結果の活用

効果的な対策を県内で展開

【国】国民健康・栄養調査の実施  
 (毎年実施、4年毎に大規模調査)  
 ■栄養摂取状況調査(1日の食物摂取状況)  
 ■身体状況調査(身長・体重・血液検査等)  
 ■生活習慣調査(生活全般のアンケート調査)

【メリット】・国全体の傾向がわかる。  
 ・大規模調査年度は、都道府県順位がわかる。

【デメリット】栄養状況はわかるが、福島県民の食行動の課題や地域差がわからないため、他県では県民健康・栄養調査を実施している県も多い。

【福島県：平成28年度】  
 ■食行動把握調査推進事業検討会を開催し、福島県民の健康課題の原因等を把握するための調査方法等を検討する。  
 ■国民健康・栄養調査の大規模調査(11月)に合わせて、検討会で作成した量的調査(食行動調査票)をモデル的に実施する。  
 ■上記の集計作業を実施する。

【平成29年度】  
 ■平成28年度量的調査の分析・検証作業  
 ■量的調査を補足するための県民に対する食行動把握インタビュー(質的調査)を実施  
 ■食行動把握調査推進事業検討会の開催し、福島県民の健康課題の原因等を把握するための調査手法を検討・構築する。

【平成30年度】  
 ■県民の食行動把握のための調査方法の提案  
 ■県内市町村に普及啓発するとともに、効果的な対策を構築し、県内で展開する。

健康ふくしま21計画・福島県食育推進計画等の見直しに調査結果を反映

めざす姿

## 【目標値】

### ■【目標指標1】野菜摂取量の増加

平成24年国民健康・栄養調査結果  
 男性 318g  
 女性 269g



目標値：平成32年  
 男性 350g以上  
 女性 350g以上

### ■【目標指標2】食塩摂取量の減少

平成24年国民健康・栄養調査結果  
 男性 12.1g  
 女性 9.9g



目標値：平成32年  
 男性 9g以下  
 女性 7.5g以下

福島県を元気で楽しく長生きできる健康長寿県に！

福島県食育応援企業等は、連携・協力しながら、県民が健康行動を起こしやすい社会環境づくりを支援！

